

「エトセトラ」出発進行

JR西日本は10月3日、観光列車「eTSETORA」の運行を始めた。列車は広島県内の瀬戸内海沿岸を走ります。

この日、尾道駅で列車から降りた約40人を駅員や住民が「ようこそ尾道へ」と書いた横断幕や旗で迎えました。利用客は「ゆったりと景色を楽しめた」と喜んでいました。

列車は2両編成で、外観は海と波をイメージした青と白でデザイン。車内の全40席は指定席です。来年3月末までの月、金、土、日曜日と祝日に1日1往復します。午前9時32分に広島を出発して呉線

經由で午後0時32分に尾道へ。折り返しの列車は午後1、2時台に尾道を出て山陽線経由で宮島口に向かいます。

尾道など



尾道駅に到着（とうちゃく）したエトセトラ

中国新聞 SELECT 2020. 10. 15

【おうちの方へ】

生活に密着したインフラである鉄道関係の記事は、新聞によく掲載されます。記事の中の駅を地図で見つけることで、自分たちが生活している地域に関心を持つことができます。また、発着時間や、かかった時間などを通じて、時計の見方や、時間の計算に役立ちます。

問題1

運行が始まった観光列車「eTSETORA」(エトセトラ)の青と白でデザインされています。何をイメージした色でしょう。

海

と

波

問題2

エトセトラは、広島駅を出発して、呉線経由で尾道駅まで行きます。出発時間と到着時間を、記事からさがしてぬき出しましょう。

午前()時	9	()分	32	に広島を出発して、
午後()時	0	()分	32	に尾道に着きます

問題3

エトセトラは、広島駅を出発し、尾道駅に着くまで、何分かかりますでしょう。

180分(3時間)

親子チャレンジ

エトセトラは、広島駅から尾道駅へは呉線経由。折り返しの尾道駅から宮島口駅までは山陽線経由となっています。経路の違いを地図で確認してみましょう。また、日本各地にはエトセトラのような、観光列車がほかにもあるので、調べてみましょう。